

いまみ 緑のたより



みんなが かがやく イマミっ子 ~明るく かしこく たくましく~

<ホームページ> <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/imajukuminami> 令和5年6月29日

日常の変化

校長 佐々木 一高

夏の語源は、「暑(あつ)」の音が「なつ」に変化したともいわれます。享保18年(1733年)、畿内を中心に飢餓に見舞われたころ、江戸ではコレラが流行して多数の死者が出たそうです。そして、徳川吉宗がこの慰霊と厄祓いとして両国川(隅田川)で花火を打ち上げたのがこの花火大会の始まりとされています。5月のコロナ5類移行に伴い、今年は国内でも多くの花火大会が開催されることとなりました。いよいよ世の中全体が日常に戻ってきたことを実感します。

週休日に我が家で決まって流れてくる歌(TVアニメ)があります。

「買い物しようとまちまで 出かけたが 財布を忘れて 愉快的……」

これまで聞いていても何も気にも留めていなかった私ですが、「世の中も随分と変わったな」と、ふと考えるきっかけとなりました。「そういえば財布を持たない、キャッシュレスが増えたなあ」と……。クレジットカードや電子マネー、コード決済等、様々な決済方法があげられます。かつては各店舗の紙のポイントカードであったり割引券だったり、ハリセンボンのようにパンパンに膨らんだ財布を持ち歩いていた人が多くいたように思いますが、スマートフォンの出現も手伝って、今ではそうした光景を目にすることも減りました。現金のみを取り扱う店が減り、セルフレジが多くの店舗で並び、ネット社会による急激な変化に追いつけていない自分を感じる場面が度々あります。

学校に目を移してみます。GIGAスクール構想が一気に加速し、1人1台端末の環境整備という非常に大きな変化がありました。教育現場にはSDGsやデジタル化の影響が確実に反映されています。例えば、この水泳学習の時季に照らすと、「ロイロノートを利用して水泳学習への健康観察や参加承諾をする」

「熱中症対策としてWBGT計を利用した運動実施規準を決める」「紫外線、熱中症対策として、水泳時にラッシュガードを着用する」「身体的な特質への配慮として、セパレート型やラッシュガードを着用する」

「熱中症対策として、プールサイドに水筒を持参し、水分補給を行いながら水泳学習を行う」など、科学的知見等も取り入れながら少しずつ変化してきました。そして、学用品や行事写真のネット販売が日常となりましたし、宿泊学習費用をコード決済でも可能とする旅行業者も出てきていると聞きます。しかしながら、情報過多の加速した世の中に、いくら学んでも追いつかない状況があることも理解しています。

令和4年6月に「こども基本法」が成立し、子どもの権利擁護や意見を表明する機会の確保法が法律上位置付けられました。今後、学校の生活やきまりを検討する際には、子どもの意見を聴収したり確認したりする機会を設け、主体である子どもが無批判で受け入れるのではなく、その根拠や影響を考えることが自律に向けた教育的意義として大切だと考えています。お蔭様で本校は、子どもの応援者である保護者の皆さんと、学校の応援者である地域の皆様に温かく包み込まれています。一緒に高度に複雑化・専門化された社会に対応し続けられる、持続可能な学校づくりに向けて今後ともお力をお貸しください。